

花巻ファーマー

養鶏場ならではの新鮮な卵を使った洋菓子



鎌田 恵久代 さん
(大畑 60歳)

大畑にある「はまだ養鶏場」を夫婦で経営する傍ら、自宅の加工室で洋菓子作りに励んでいる鎌田恵久代さん。新鮮な卵を使い、ほぼ無添加で作られるその洋菓子は、多くのファンから好評を得ています。

農協女性部での集まりなどでお菓子を持ち寄っていた鎌田さんは、関係者の勧めもあり、平成9年に産直「だあすこ」で洋菓子の販売を開始。翌10年には自宅に加工室を構え、20年以上にわたって洋菓子を提供しています。

鎌田さんが作る洋菓子は、シフォンケーキをはじめ、プリンやスコーン、ポップオーバー、チーズケーキなどさまざま。「本などを参考にして、材料が用意できる洋菓子を作

作っています」と鎌田さんは話します。

鎌田さんの一番のお薦めはシフォンケーキ。コーヒーや紅茶のほか、最近では自宅で栽培しているブルーベリーを使ったものもあるそうです。「これからもできる限り洋菓子作りを続けたい」と話す鎌田さん。「一人で作っていることもあり、作れる量も限られているので、販路を広げ過ぎず頑張り過ぎないことが大切ですね」と笑顔を見せていました。



シフォンケーキやプリンなど、新鮮な卵が使われています

広げよう
活動の輪

市民活動団体紹介

心身共に健康なまちづくりを目指して
健康生活ネット花巻

健康生活ネット花巻は「食育」「美育」を軸として、心と体の健康増進を目的に活動する団体です。

同団体は平成25年に発足。自然農法による野菜作りをはじめ、田植え体験、児童展や花展、お茶会の講師など、多岐にわたりボランティア活動を行っています。

子どもたちや学生、海外からの留学生などと一緒に活動すること、人と人との交流を生み出している同団体。そのボランティアを通して、日本の自然と関わる機会や日常生活で美に触れる場も提供しています。

会員の晴山久美子さんは「今までやってきた活動を今後も進展させたい」と話します。会員の知識を生かし、今後も活動を広げていきます。



1・2「田植え体験」や「お花の会」に参加する子どもたち 3 健康生活ネット花巻の皆さん

【問い合わせ】
健康生活ネット花巻
代表 沢田 一衛さん
(☎21-5622)

健康コラム

子どもの予防接種は必要？

1歳になるまでの乳幼児は、5種類で合計13回の予防接種を受けなくてはいいませんが、何のために接種するのでしょうか？

予防接種の必要性について考えていきましょう。

●病気を防ぐ

生まれたばかりの赤ちゃんは、母親からもらった免疫を持っています。しかし、免疫は生後2カ月ごろから次第に減少。無防備になった状態になってしまいます。そんな子どもを病気から守るために、年齢などを考慮してスケジュールを組み、必要なワクチン接種を進めていくのが予防接種です。

感染症の中には、乳幼児の時期に感染すると軽症で済み、大人になってから感染すると重症化してしまうものがあります。そういった感染症への抵抗力を事前に付けておくという意味でも予防接種は大切です。

●周囲の人を守る

特定の感染症が流行したとき、多くの人が予防接種を受け免疫を獲得していると、集団の中に感染者が出てきても流行を予防することができる「集団免疫効果」が発揮されます。

このように、子どもの予防接種は、個人の感染・重症化の予防のみならず、将来の自分や周りの人を守ることにもつながる、とても大切なものなのです。

【問い合わせ】健康づくり課 (☎ 23-3121)



市民生活コーナー

光回線サービスの勧誘に注意！

■どんな相談があるの？

○大手電話会社を名乗る業者から電話があり、「アナログ回線が使えなくなる」と言われた。勧められるままに光電話を契約したら、後から別会社と契約していたことが分かった

○光回線サービスの契約先のコールセンターを名乗る会社から電話があり、今より料金が安くなると言われ

■注意することは？

○平成27年2月より、大手電話会社が光回線サービスの御売りを開始しました。御売りを受けた事業者(コラボ事業者)から勧誘を受け契約した場合は、大手電話会社との契約にならないので注意しましょう

■困ったときは？

○新館市民生活総合相談センター(☎41-3550)へ

た。料金プランの変更と支払い手続きをしたところ、説明されていないオプションが契約に含まれていて、高額な料金を請求された

○勧誘を受けたときは、事業者名やサービス名などを確認しましょう

テイクアウトのお店はこののぼりが目印です

掲載。1カ月半で40件近くのお店の情報が集まりました。投稿を見てくれた人の中には、わざわざ電話をくれた人や、丁寧なメールで写真を提供してくれた人もいました。「こういう状況だけど、マップに載せてくれて助かってるよ」という声を聞いた時、うれしさと同時に「花巻の人は強いなあ」と感じました。そして「マップ」という手段に大きな可能性を感じるきっかけになりました。

今後も、地域の魅力発信を「まきまき花巻」をはじめとしたさまざまなアプローチで続けていきたいと思います。



「はなまきテイクアウトマップ」を作成しました
-シティスロモーション担当 塩野 タ子-

新型コロナウイルス感染症対策として要請された外出自粛の影響により、飲食店が経営に苦しんでいる現状で何かできることはないかと考え「はなまきテイクアウトマップ」を作成しました。

同マップを作るに当たってスピード感がどうしても必要だったのですが、私自身、花巻に移住して1年そこそこ。飲食店のことを1人で調べるのは途方もなく困難でした。

そこで「市民の皆さんに力を貸してもらおう!」と考え、花巻の魅力を発信するウェブサイト「まきまき花巻」に情報を呼び掛ける記事を